

豊橋市の「つまもの」

1 豊橋市の「つまもの」生産について

愛知県の「つまもの」のJA系統販売額は159億円（2023年産）で、全国統計はありませんが、全国1位とされています。このうち豊橋市産は55%（88億円）を占める日本一の産地とされています（表1）。

全国統計があるしそと食用ぎくでは、本県が出荷量及び産出額ともに高いシェアを占めており（表2、表3）、市町村別統計はありませんが豊橋市産が大部分を占めています。

表1 「つまもの」の販売額（2023年産）

		販売額（億円）
愛知県JA系統全体		159
うち豊橋市産		88
豊橋市産の割合		55%

（出典：愛知県経済農業協同組合連合会業務資料、東三河農林水産事務所調べ）

表2 大葉※の出荷量および産出額

順位	県名	出荷量（t）		産出額 （億円） [2019年 産]
		[2018年 産]	シェア （%）	
1	愛知	3,522	73	133
2	大分	547	11	14
3	茨城	280	6	8
参考	豊橋市	1,856	39	48
全国計		4,792	100	183

※大葉の出荷量はしそ（施設）、産出額はしその数値。

（出典：農林水産省「地域特産野菜生産状況調査」、「生産農業所得統計」及び東三河農林水産事務所調べ 表2、3とも）

表3 食用ぎくの出荷量および産出額

順位	県名	出荷量（t）		産出額 （億円） [2022年 産]
		[2020年 産]	シェア （%）	
1	愛知	368	52	8
2	山形	119	17	5
3	青森	105	15	1
参考	豊橋市	160	23	5
全国計		701	100	15

2 「豊橋『つまもの』の日」について

2023年12月22日、一般社団法人日本記念日協会において4月12日が「豊橋『つまもの』の日」に登録されました。登録者は豊橋温室園芸農業協同組合で、春は「つまもの」の生産・出荷量が増え始めるタイミングであることや、「よ（4）い（1）つ（2）まもの」の語呂合わせから、4月12日が記念日に登録されました。

3 豊橋温室園芸農業協同組合について

全国的にも珍しい「つまもの」専門の農業協同組合で、大葉、小菊、菊葉、花穂・ほじそ、ハーブ、エディブルフラワー、ベルローズの生産が盛んです。

「つまもの」の出荷額は85億円（2022年産）で、出荷シェアは全国1位を誇ります。1949年（昭和24年）に設立し、2023年現在の組合員数は214名です。